



### 県立掛川西高校が第56回全国野生生物保護活動発表大会文部科学大臣賞



静岡県立掛川西高等学校では、桶ヶ谷沼に生息している希少種ベッコウトンボの生息域の特定や保護活動に取り組んできました。

自然科学部では、水中からのベッコウトンボの代謝産物を得ることで、生息域の特定を目指しました。

また、ベッコウトンボを羽化させるため、市民団体と協力し、保護活動にも取り組みました。産卵場所を確保するため、抽水植物や羽化が確認された場所でのオオフサモなどの外来種を取り除く作業などを実施しました。

これらの活動を自然科学部がまとめ、「希少種ベッコウトンボの生息域の特定を目指して」と題して発表し、第56回全国野生生物保護活動発表大会において、文部科学大臣賞を受賞しました。



文部科学大臣賞受賞



市民団体と協力した保護活動

### デジタル技術を活用した効果的なニホンジカ捕獲活動



県では、伊東市岡・鎌田地区において、ドローンの画像からAI（人工知能）で解析して作成した「生息分布図」を基に、捕獲従事者がリアルタイムでわなを設置することで、ニホンジカを効果的に捕獲する実証試験に取り組みました。



ドローンを飛ばし、ニホンジカの生息状況を撮影



画像をAIで解析した「生息分布図」(数字はニホンジカの頭数)

田方猟友会の会員が捕獲活動に従事したところ、44頭のニホンジカを捕獲しました。仕掛けたわなにニホンジカが掛かった割合(捕獲効率)は、県の平均と比較して、約1.6倍に向上しました。

取組の結果、ドローンの活用がわな猟にとって効果的であることがわかりました。

### どんなカメが暮らしている？ 萩間川カメ調査イベントを開催



牧之原市は、外来種問題・対策の普及啓発を目的に、令和4年10月1日、淡水カメの捕獲調査イベントを開催しました。

捕獲調査体験では、参加者が罟を引き上げ、捕獲されたカメがどのような種なのかを見て、触れて調査しました。

講演では、捕獲されたミシシippアカミミガメが外来種であること、外来種は身近に生息し、生態系への悪影響を及ぼすものもいることなどを説明し、被害を予防するための【入れない・捨てない・拡げない】を呼びかけました。



川でカメの捕獲体験



カメの解説をする有識者と熱心に聴く市民



### 南アルプスみらい財団の設立と南アルプス魅力発信・環境学習サイトの開設



南アルプスは、ユネスコエコパークに登録され、氷河期由来の動植物が息づき、地球のダイナミズムを目の当たりにできるなど、数え切れない魅力的な自然環境を有する『知られざる世界の宝』です。

県では、南アルプスを訪れる人々を増やしながら自然環境の保全活動の拡充を図り、南アルプスの貴重な自然環境をより良い形で未来に引き継ぐ事業を実施するため、令和4年7月19日に（一財）南アルプスみらい財団を設立しました。

また、多くの子ども達が、「南アルプス」が持つ魅力の本質に触れ、楽しみ、学び、理解を深めるため、教育機関の授業などで活用可能な魅力発信・環境学習サイト「南アルプスの宝箱（たからばこ）」を令和5年3月に開設しました。



南アルプスみらい財団の自然保護活動  
（高山植物調査）



「南アルプスの宝箱」サイト

### ロボット芝刈機で芝生の管理をもっとラクにしませんか



県では、私たちの生活に美しい空間を創出し、自然教育やスポーツ振興に有益な芝生地を拡大する取組の一環として、園庭・校庭の芝生化を進めています。

令和4年度に、芝生の維持管理作業の軽減が期待されるロボット芝刈機を県内3箇所試験導入し、その効果を検証しました。

芝刈りにかかる作業時間が短縮されたほか、従来のエンジン式に比べて騒音が小さく、地域住民等から好評価を得ました。一方で刈りムラを発生させないように、稼働時間をしっかり確保すること等、運用上の留意点が明らかになりました。

令和5年度から（公財）静岡県グリーンバンクを通じて導入に対する助成制度を設け、県下へ普及を進めていきます。



HONDAロボット芝刈機  
「Miimo」（ミーモ）



ロボット芝刈機見学会（掛川西高校）